

人口ビジョン策定に向けた調査結果



目次

Agenda

01 少子化等に関する市民アンケート調査	4
02 地方移住に関する市民アンケート調査	11
03 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査	18
04 高校生まちづくりアンケート調査	24

各分野の項目案

01 | 少子化等に関する 市民アンケート調査

- ① 調査の概要
- ② 結婚に対する考え
- ③ 現在の子供の人数と理想の子供の人数
- ④ 理想の子供の人数より現在の子供の人数が少ない理由
- ⑤ 子育て支援策で重要なこと
- ⑥ 出生率低迷の原因
- ⑦ 高山市の出産・子育てのしやすさ

02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

- ① 調査の概要
- ② 高山市での居住の詳細（I・Jターン、Uターンの割合）
- ③ （I・Jターン）高山市への転入のきっかけ
- ④ （Uターン）高山市からの転出のきっかけ
- ⑤ （Uターン）高山市に戻ったきっかけ
- ⑥ 居住地を決める際の重視事項
- ⑦ 高山市への愛着
- ⑧ 高山市の暮らしやすさ・暮らしにくさ

03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望 アンケート調査

- ① 調査の概要
- ② 卒業後の進路希望、就職先・進学先の地域の希望
- ③ 飛騨地域以外での就職を希望する理由（高校卒業後）
- ④ 飛騨地域以外での就職を希望する理由（進学先卒業後）
- ⑤ 居住地への愛着度

04 | 高校生まちづくりアンケート調査

- ① 調査の概要
- ② 高山市や居住地域の愛着度
- ③ 継続移住・Uターンの意思、将来高山市に住みたくなる条件

01 | 少子化等に関する市民アンケート調査

01 | 少子化等に関する市民アンケート調査

① 調査の概要

● 調査の目的

第九次総合計画の策定に向けた現状分析など、高山市が今後目指すべき方向性やまちの将来を展望するため

● 調査の期間

令和5年8月17日～10月11日

● 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布、回収
調査対象	満20歳以上～45歳未満の市民 2,000人
抽出方法	無作為抽出

● 回収結果

回収数	643件
回収率	32.2%

● 調査の項目

※太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

○ 結婚について

- ・ 結婚に対する考え
- ・ 独身でいる理由
- ・ 結婚希望者への支援策
- ・ 高山市の結婚相談所、結婚支援サイトの認知度

○ 出産について

- ・ 現在の子供の人数と理想の子供の人数
- ・ 理想の子供の人数より現在の子供の人数が少ない理由

○ 子育てについて

- ・ 子育て中の親が働く上での課題
- ・ 子育て支援策で重要なこと

○ ワーク・ライフ・バランスについて

- ・ 仕事と生活の調和
- ・ 自身の職場の子育てしやすさ
- ・ 子育てを機に仕事を辞めた理由
- ・ 職場復帰の希望

○ 少子化について

- ・ 少子化に対する危機感
- ・ 少子化が地域に与える影響
- ・ 出生率低迷の原因

○ 高山市について

- ・ 高山市の出産・子育てのしやすさ

02 | 少子化等に関する市民アンケート調査

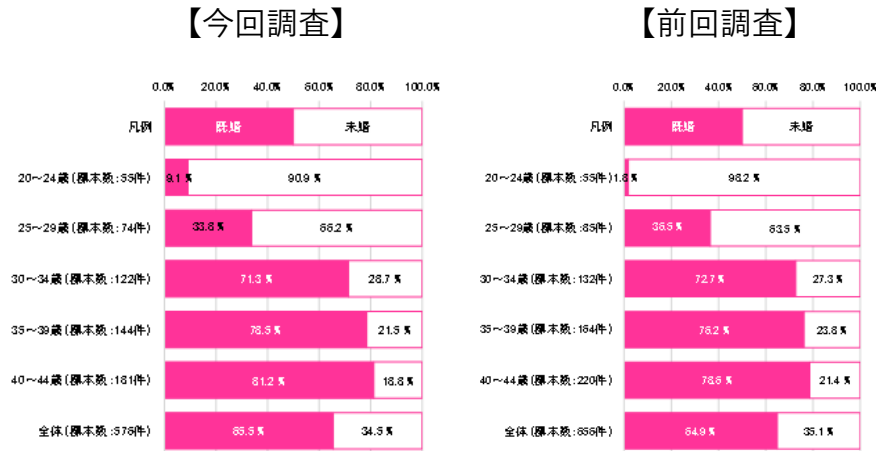
(2) 調査の結果

①結婚に対する考え

問1-7 現在、配偶者等はいですか（1つに○印）

・年代別の結婚状況は、未婚の割合は、20～24歳は90.9%で最も高く、次いで25～29歳は66.2%となっている。それ以降の年代では2～3割が未婚となっている。
・前回調査と既婚割合を比較すると、25～29歳が2.7ポイント減少しているものの、20～24歳と35歳以上の年代における既婚割合の増加が見られており、全体としての既婚割合も微増している。

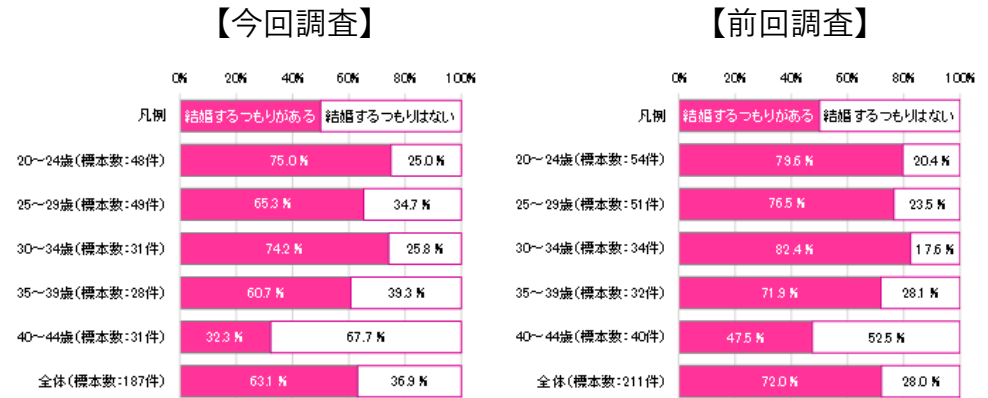
年代別婚姻状況



問2-1 あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどれですか。（1つに○印）

・未婚者の63.1%が「結婚するつもりがある」と回答している。
・前回調査と比較すると、全体では結婚の意向が8.9ポイント減少している。中でも25～29歳、35歳以上の結婚の意向が減少しており、25～29歳では11.2ポイント、35～39歳では11.2ポイント、40～44歳では15.2ポイント減少している。

年代別結婚の意向



02 | 少子化等に関する市民アンケート調査

(2) 調査の結果

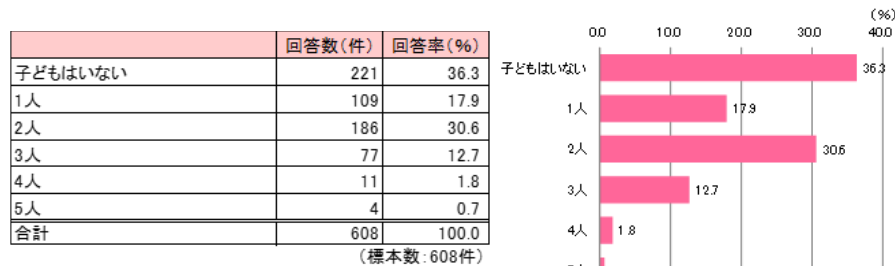
② 現在の子供の人数と理想の子供の人数

問3-1 現在のお子さんの人数、今後欲しいお子さんの人数、理想のお子さんの人数をお答えください。

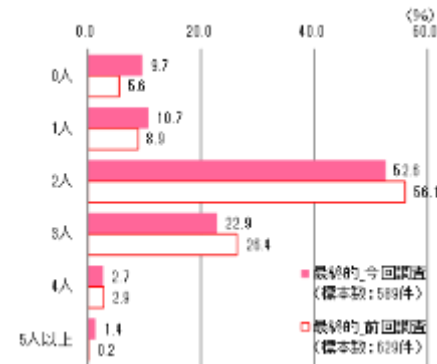
・現在いる子どもの人数は「0人（いない）」が36.3%で最も高く、次いで「2人」、「1人」、「3人」の順となっている。

・最終的に持ちたい子どもの人数の平均は「2.03人」、理想とする子どもの人数の平均は「2.37人」で、理想と現実には差が生じていることがわかる。また、前回調査と比較すると、最終的に持ちたい子どもの人数と、理想とする子どもの人数の平均値が減少している。

現在いる子どもの人数



今後欲しい子どもの人数



理想の子供の人数



最終的に持ちたい子どもの人数
= 589人)

平均: 2.03人
<前回調査2.13人>

理想とする子どもの人数
(回答者数 = 593人)

平均: 2.37人
<前回調査2.51人>

02 | 少子化等に関する市民アンケート調査

(2) 調査の結果

③理想の子供の人数より現在の子供の人数が少ない理由

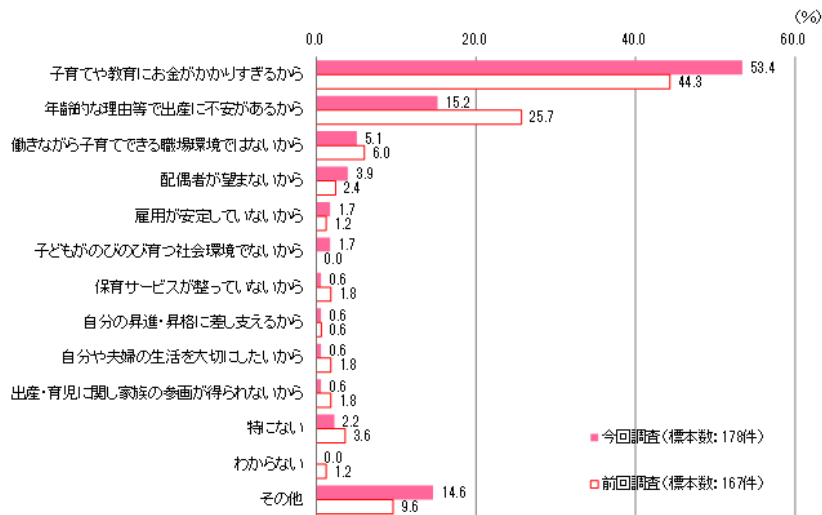
問3-2 理想の人数より少ない理由は何ですか。(1つに○印)

・最終的に持ちたい子どもの人数が理想を下回っている理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」53.4%で最も高く、次いで「年齢的な理由等で出産に不安があるから」が15.2%となっており、全体的に前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

問3-3 どの条件が十分に満たされていたら、理想の子どもの人数に近づけると
 思いますか。(3つまで○印)

・理想の人数に近づくために必要な条件は、「大学や専門学校等進学時の負担軽減」が42.5%で最も高いものの、前回調査よりも7.5ポイント減少している。
 ・次いで「小学校～高等学校までの就学時の負担軽減」、「育児・家事に関する家族等のバックアップ」が高くなっている。

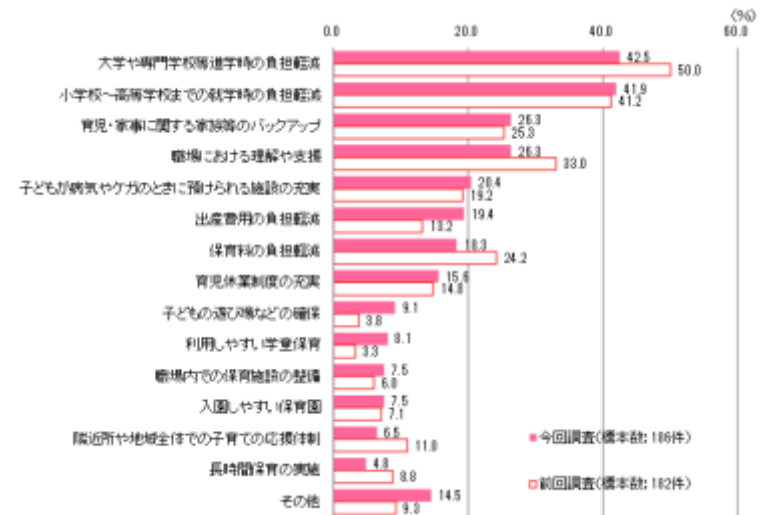
理想の子どもの人数より少ない理由



※その他の主な内容

・「自身及び世帯の収入に不安がある」、「理想の人数の子どもを授からなかった」、「不妊治療の費用がかかる」など

理想の子どもの人数に近づく条件



※その他の主な内容

・「自身及び世帯の収入増加」、「不妊治療費用の負担軽減」など

02 | 少子化等に関する市民アンケート調査

(2) 調査の結果

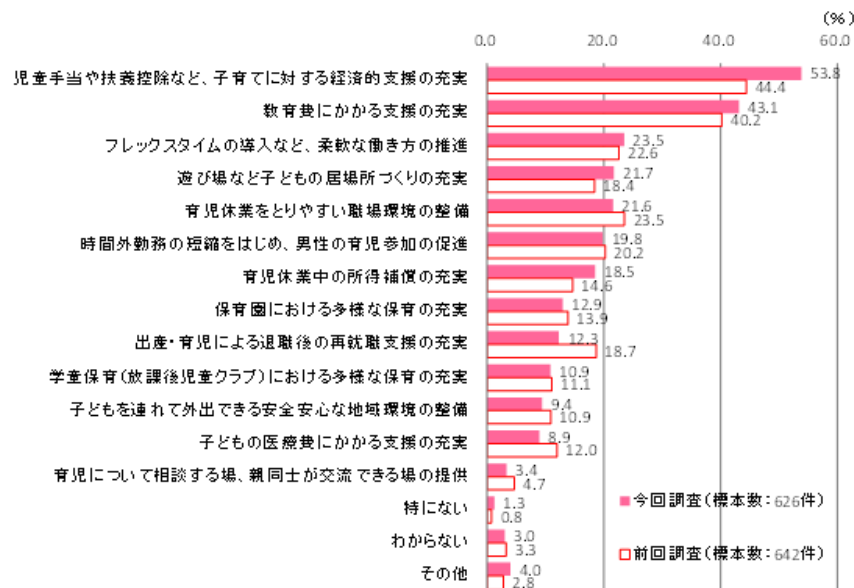
④子育て支援策で重要なこと

問4-2 あなたは、子育て支援策として何が重要だと思いますか。(3つまで○印)

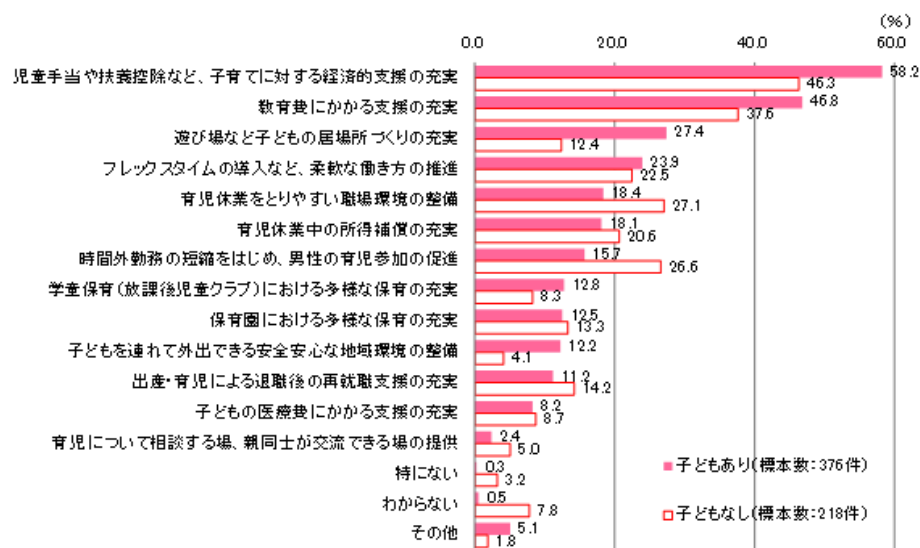
・重要だと考えている子育て支援策は、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援の充実」が53.8%で最も高く、次いで「教育費にかかる支援の充実」が43.1%となっており、経済的支援を求める声が上位を占めている。前回調査とほぼ同様の傾向である。

・子どもの有無別に重要だと考えている子育て支援策をみると、子どもがいる回答者では「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援の充実」が58.2%で最も高く、次いで「教育費にかかる支援の充実」が46.8%、「遊び場など子どもの居場所づくりの充実」が27.4%の順となっている。
・子どもがいない回答者では、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援の充実」が46.3%で最も高く、次いで「教育費にかかる支援の充実」が37.6%、「育児休業をとりやすい職場環境の整備」が27.1%の順となっている。

重要と考える子育て支援策



子どもの有無別・重要と考える子育て支援策



02 | 少子化等に関する市民アンケート調査

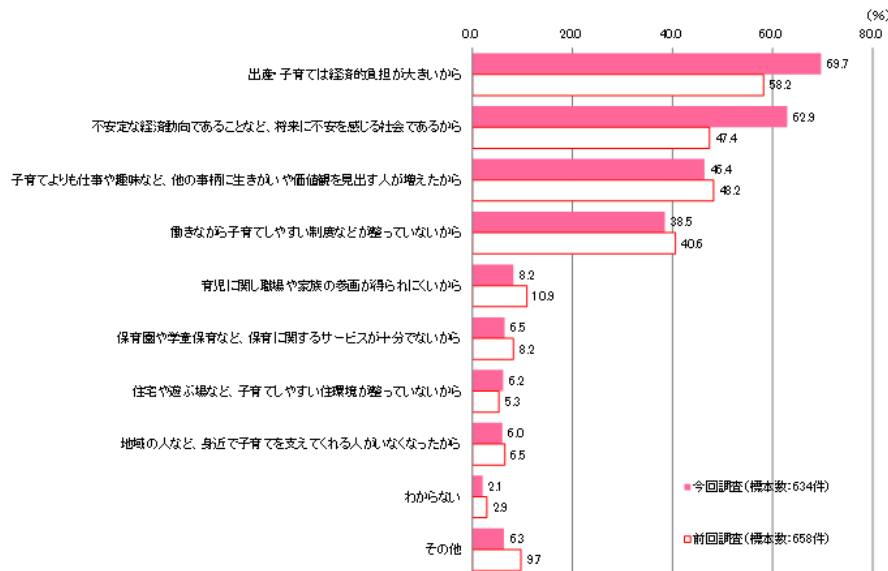
(2) 調査の結果

⑤ 出生率低迷の原因

問6-3 あなたは、出生率が低い主な原因は何だと思いますか。(3つまで○印)

・出生率が低い主な原因としては、「出産・子育ては経済的負担が大きいから」が69.7%で最も高く、次いで「不安定な経済動向であることなど、将来に不安を感じる社会であるから」が62.9%、「子育てよりも仕事や趣味など、他の事柄に生きがいや価値観を見出す人が増えたから」が46.4%の順となっている。経済的な理由のほか、価値観の変化なども理由としてあげられており、前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

出生率が低い原因

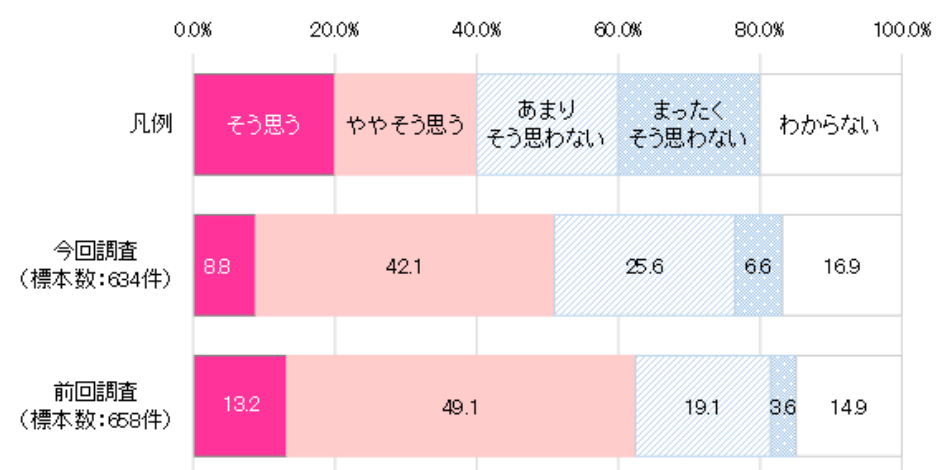


⑥ 高山市の出産・子育てのしやすさ

問7-1 高山市は、子どもを生み育てやすいまちであると思いますか。(1つに○印)

・高山市は子どもを生み育てやすいまちであるかについては、「そう思う」が8.8%、「ややそう思う」が42.1%で、合わせて50.9%となっている。前回調査と比較して「そう思う」、「ややそう思う」が減少しており、子どもを生み育てやすいと考える人が少なくなっている。

高山市の子育てのしやすさ



02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

① 調査の概要

● 調査の目的

第九次総合計画の策定に向けた現状分析など、高山市が今後目指すべき方向性やまちの将来を展望するため

● 調査の期間

令和5年8月3日～10月1日

● 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布、回収
調査対象	岐阜県外から本市に3年以内に移住した満20歳以上の市民 1,000人
抽出方法	無作為抽出

● 回収結果

回収数	294件
回収率	29.4%

● 調査の項目

※太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

- 高山市での居住状況
 - ・ 高山市での居住の詳細（I・Jターン、Uターンの割合）
- Iターン・Jターンの状況
 - ・ 転入前に高山市に魅力を感じていたか
 - ・ 高山市への転入のきっかけ
 - ・ 高山市への転入前の年齢、居住地等
 - ・ 移住先候補の情報収集方法
 - ・ 高山市以外の移住先候補、高山市への移住の決め手
 - ・ 転入後困ったこと、転入時に必要な支援
- Uターンの状況
 - ・ 高山市からの転出のきっかけ
 - ・ 高山市からの転出時の年齢、転出先等
 - ・ 高山市に戻ったきっかけ
 - ・ 高山市に戻った際の心境
- 転入後の仕事・住居・生活の変化
 - ・ 高山市への転入時の仕事・住宅の見つけ方
 - ・ 居住地を決める際の重視事項
 - ・ 転入時に心配だったこと
 - ・ 移住の支援策
 - ・ 高山市転入後の生活の変化
- 高山市での暮らし
 - ・ 高山市への愛着
 - ・ 地域の転入者・移住者に対する受入れの雰囲気
 - ・ 高山市の暮らしやすさ・暮らしにくさ
 - ・ 今後の高山市への定住意向

02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

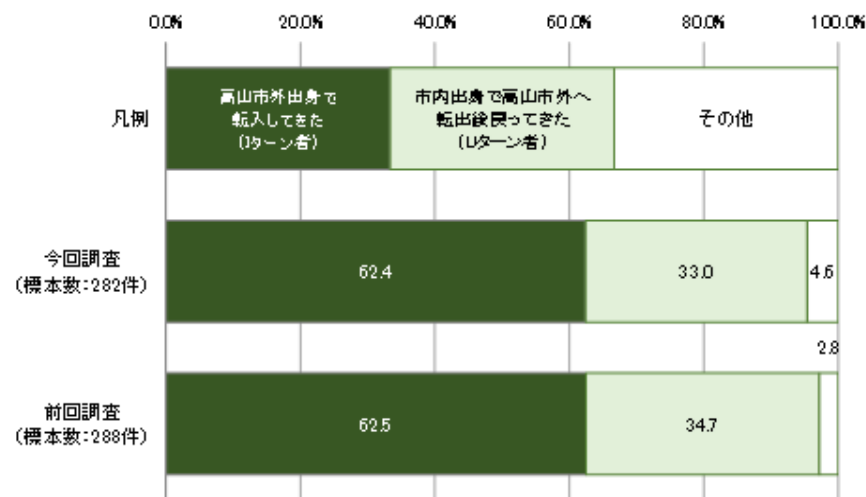
②高山市での居住の詳細（I・Uターン、Uターンの割合）

問1-13 高山市での居住経験・年数について、あてはまるもの1つに○をつけ、年数をお書きください。

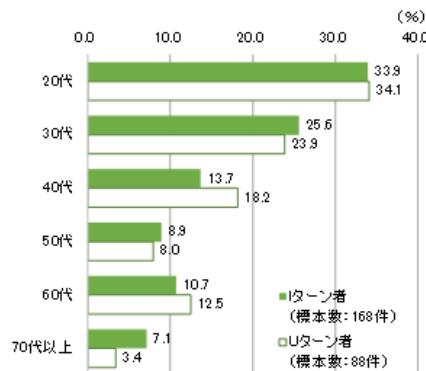
- ・居住経験は、「高山市外の出身で転入してきた（Iターン者）」が62.4%、・市内出身で高山市外へ転出後戻ってきた（Uターン者）」が33.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、Uターン者が1.7ポイント減少している。

- ・Iターン者・Uターン者別に年代をみると、Iターン者とUターン者はどちらも20代、30代が同程度となっている。Uターン者の場合、40代と60代の割合がIターン者よりも高い。
- ・Iターン者・Uターン者別の同居者をみると、Iターン者は「ひとり暮らし」が55.7%で最も高く、次いで「夫婦」が17.6%、「自分と子の二世帯」が14.8%となっている。Uターン者は「自分の親の二世帯」が34.8%と最も高い。

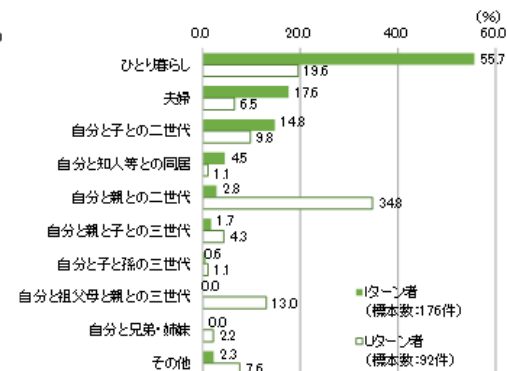
居住経験



年代別居住経験



同居者別居住経験



02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

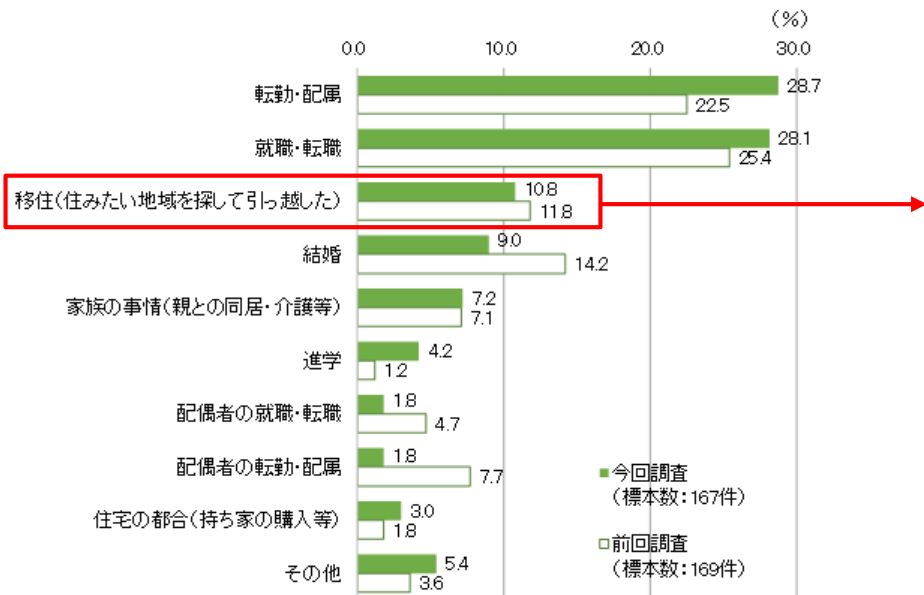
③ (I・Jターン) 高山市への転入のきっかけ

問2-3 高山市に転入したきっかけについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

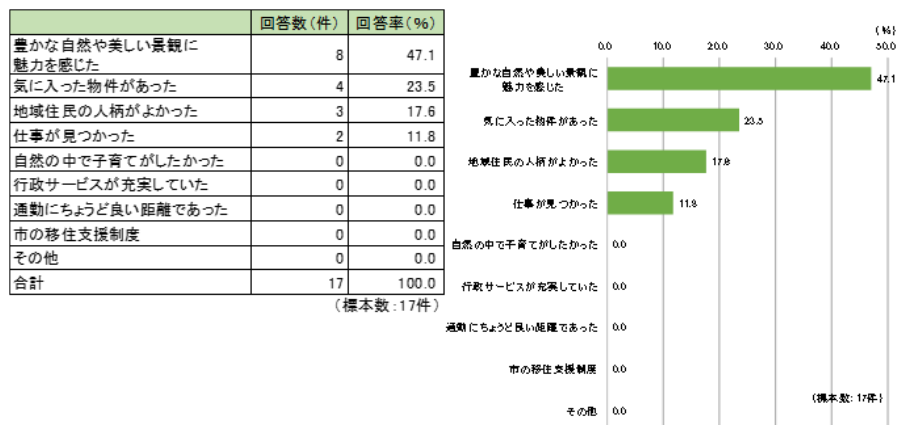
- ・転入のきっかけは、「転勤・配属」が28.7%で最も高く、次いで「就職・転職」が28.1%となっており、仕事による転入が多い。
- ・高山市を選んで引っ越してきた「移住」は10.8%となっており、前回調査より1.0ポイント減少している。
- ・移住した人の情報収集の方法としては、「元々知っており意識していない」が47.1%で最も高く、次いで「家族・知人・友人の紹介」が22.2%となっている。

- ・高山市を選んで引っ越してきた「移住」の決め手は、「豊かな自然や美しい景観に魅力を感じた」が47.1%で最も高くなっている。

Iターン者・転入のきっかけ



Iターン者・移住の決め手



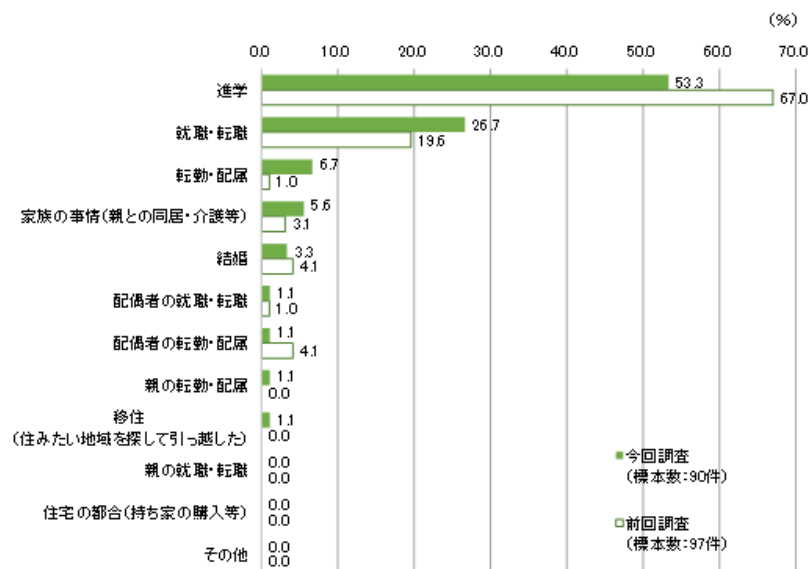
02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

④ (Uターン) 高山市からの転出のきっかけ

問3-1 高山市から転出したきっかけとして、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・転出のきっかけは「進学」が53.3%で最も高く、次いで「就職・転職」が26.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「就職・転職」による転出が7.1ポイント増加し、「進学」による転出は13.7ポイント減少している。
- ・転出時の年代は「10代」が68.2%で最も高く、次いで「20代」が14.8%となっており、進学や就職などで若い年代が市外へ転出していることがうかがえる。

Uターン者・転出のきっかけ

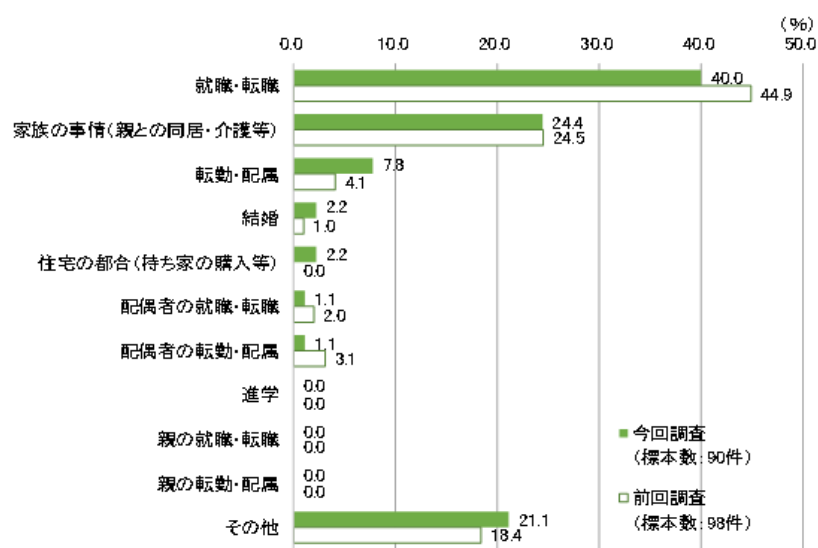


⑤ (Uターン) 高山市に戻ったきっかけ

問3-5 高山市に戻ったきっかけとして、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・戻ってきたきっかけは、「就職・転職」が40.0%で最も高く、次いで「家族の事情(親との同居・介護等)」が24.4%となっており、前回調査と同様の傾向である。
- ・転入時の年代は、「20代」が50.5%で最も高く、次いで「30代」が22.1%、「50代以上」が20.0%の順となっている。

Uターン者・再転入のきっかけ



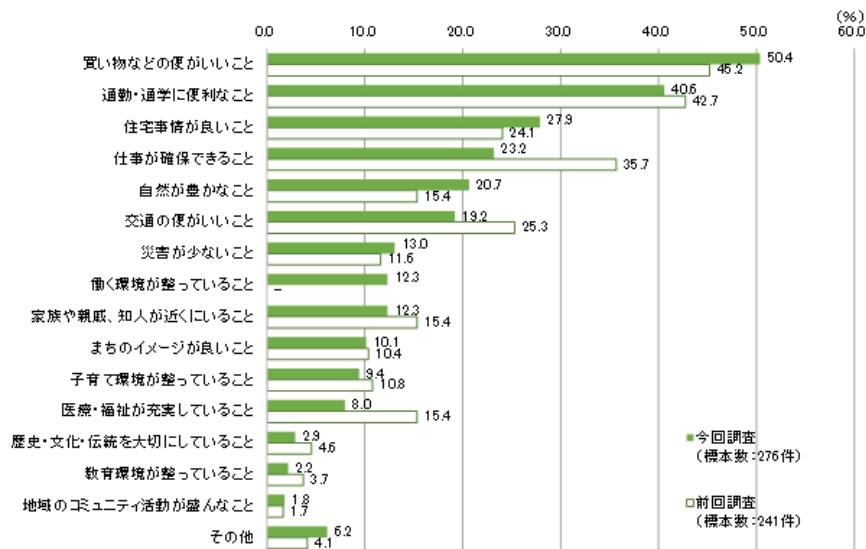
02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

⑥ 居住地を決める際の重視事項

問4-3 住む場所を決める際に重視することは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- ・住む場所を探す際に重視したことは、「買い物などの便がいいこと」が50.4%で最も高く、次いで「通勤・通学に便利なこと」が40.6%、「住宅事情が良いこと」が27.9%の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「仕事が確保できること」は12.5ポイント減少している。

Uターン者・Iターン者別 居住地の重視事項

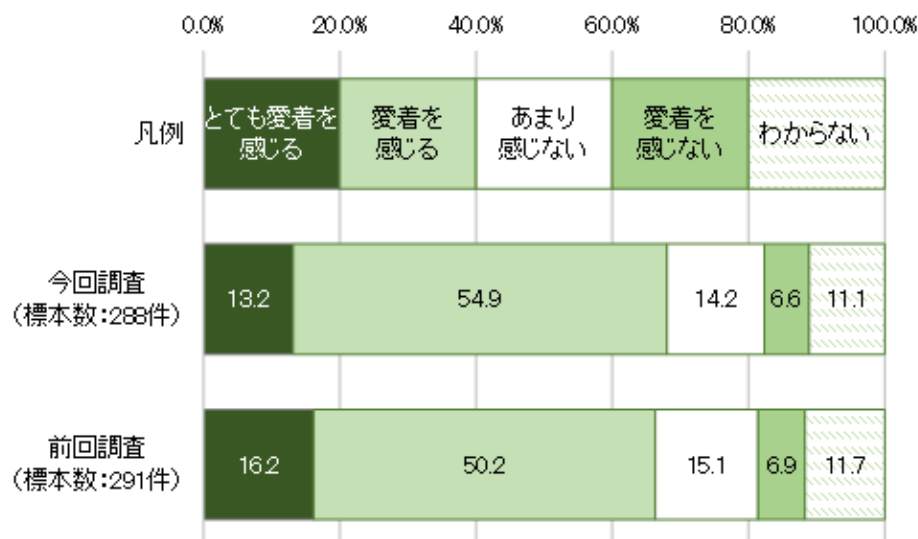


⑦ 高山市への愛着

問5-1 高山市への愛着度として、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・高山市への愛着は、「とても愛着を感じる」が13.2%、「愛着を感じる」が54.9%で合わせて68.1%で前回調査（66.4%）より若干増加している。
- ・Uターン者は「とても愛着を感じる」が9.8%、「愛着を感じる」が56.9%で、合わせて66.7%が愛着を感じている。Iターン者は「とても愛着を感じる」が19.6%、「愛着を感じる」が53.3%で合わせて72.9%であり、Uターン者よりも愛着を感じている人の割合がやや高い。

高山市への愛着



02 | 地方移住に関する市民アンケート調査

⑧高山市の暮らしやすさ・暮らしにくさ

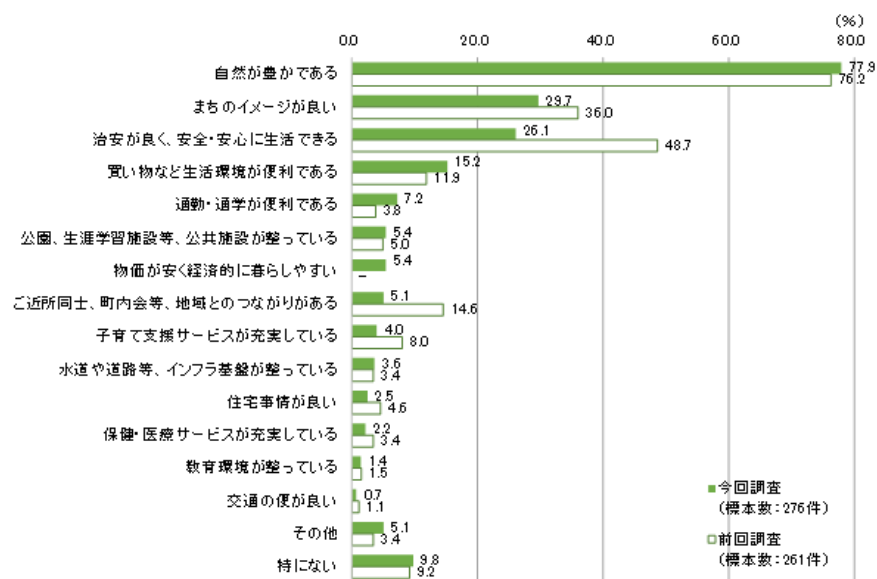
問5-4 高山市の暮らしやすい点として、あてはまるものに3つまで○をつけてください。

・高山市の暮らしやすい点は、「自然が豊かである」が77.9%で最も高く、次いで「治安が良く、安全・安心に生活できる」が26.1%、「まちのイメージが良い」が29.7%の順となっている。

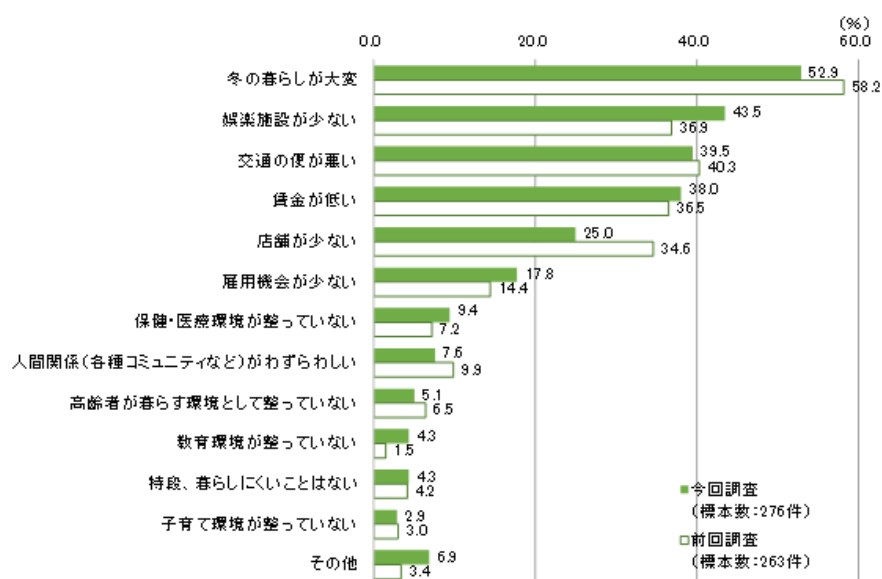
問5-5 高山市の暮らしにくい点として、あてはまるものに3つまで○をつけてください。

・高山市の暮らしにくい点は、「冬の暮らしが大変」が52.9%で最も高く、次いで「娯楽施設が少ない」が43.5%、「交通の便が悪い」が39.5%の順となっている。
・前回調査と比較して、「店舗が少ない」は9.6ポイント減少したものの、「娯楽施設が少ない」は6.6ポイント増加している。

高山市の暮らしやすい点



高山市の暮らしにくい点



03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

① 調査の概要

● 調査の目的

第九次総合計画の策定に向けた現状分析など、高山市が今後目指すべき方向性やまちの将来を展望するため

● 調査の期間

令和5年9月8日～10月6日

● 調査の方法

調査対象 飛騨地域の高校及び特別支援学校高等部に通う本市在住の生徒（3年生・668人）
実施方法 各学校を通じて配布、インターネットによる回答（一部学校にて回収）

● 回収結果

回収数 318件
回収率 47.6%

● 調査の項目

※太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

○ 今後の進路と将来の仕事

- ・ **卒業後の進路希望、就職先・進学先の地域の希望**
- ・ 飛騨地域での就職、進学を希望する理由
- ・ **飛騨地域以外での就職を希望する理由**
- ・ 将来やりたい仕事
- ・ 仕事を選ぶ上で重視する事項
- ・ 将来の働き方の希望
- ・ 飛騨地域にある仕事の認知度
- ・ 就職先の情報収集方法
- ・ 高山市の「合同企業説明会」、「職場見学会」への関心

○ 暮らしや地域への考え方

- ・ **住んでいる地域への愛着度**
- ・ 地域の住みやすさ
- ・ 地域を自慢したいか
- ・ 地域活動や祭りへの参加
- ・ 地域への定住
- ・ 都会への憧れ

03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

②卒業後の進路希望、就職先・進学先の地域の希望

問2-1 あなたの卒業後の進路希望として、あてはまるものの1つ選んでください。

・路希望状況は、「就職希望」が16.1%、「進学希望」が82.0%であり、前回調査よりも進学希望者の割合が増加している。

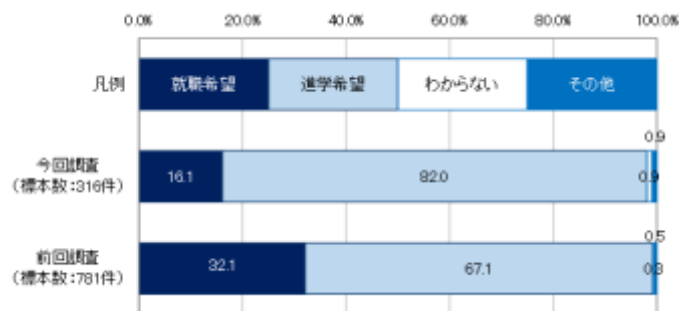
問2-2 問2-1で「就職希望」「進学希望」と回答した方にお聞きます。

(1) 高校卒業後の就職先、進学先として希望する地域はどちらですか。あてはまるものを1つ選んでください。

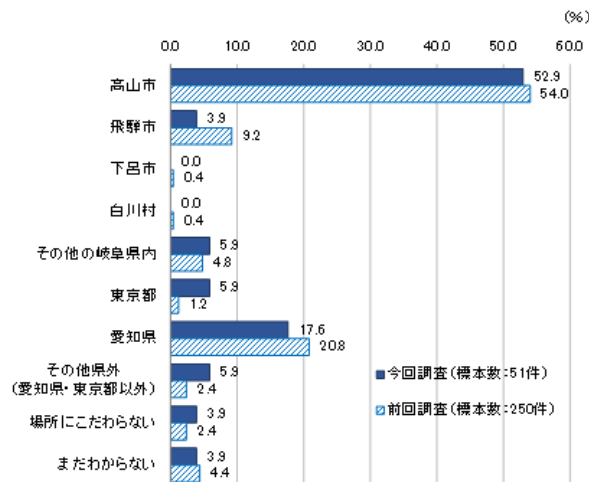
・就職希望者の希望する就職地域は、「高山市」が52.9%で最も高く、次いで「愛知県」が17.6%となっている。前回調査と比較すると、飛騨地域で就職を希望する割合が減少し、「東京都」や「その他県外（愛知県・東京都以外）」での就職を希望する割合が増加している。

・進学先の希望地域は、大学希望者は「その他県外（愛知県・東京都以外）」が36.6%で最も高く、次いで「愛知県」が26.3%、「その他の岐阜県内」が13.1%の順となっている。専修・各種専門学校希望者は「愛知県」が49.2%、短期大学希望者は「飛騨地域以外の岐阜県内」が52.6%で、それぞれ最も高くなっている。

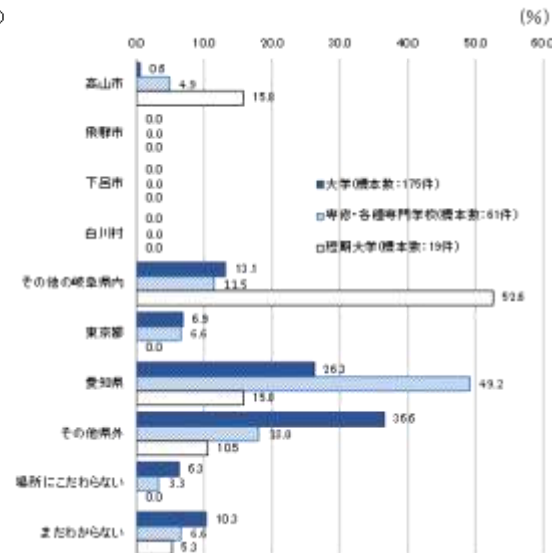
進路希望状況



【就職希望者】就職希望地域



【進学希望者】進学希望地域



03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

③ 飛騨地域以外での就職を希望する理由（高校卒業後）

問2-3 就職希望の方のうち、飛騨地域以外の場所で就職を希望している方にお聞きます。

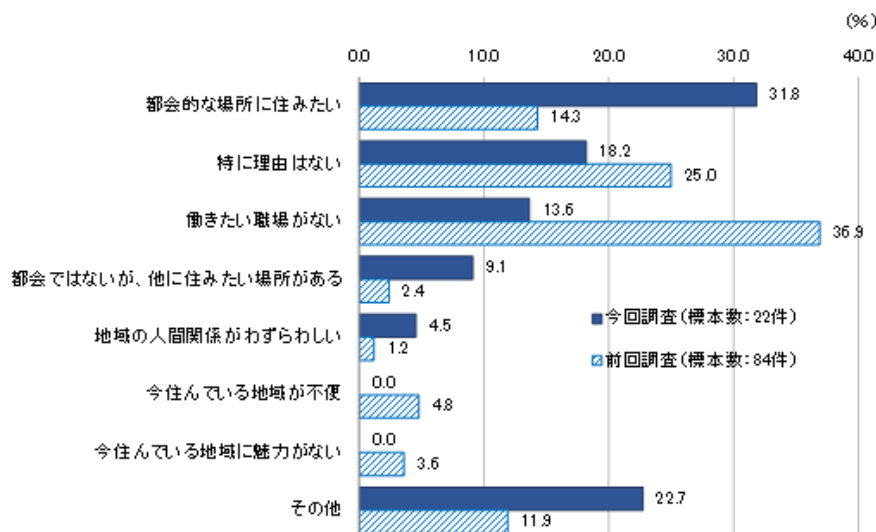
(1) 飛騨地域以外で就職したい理由として、あてはまるもの1つ選んでください。

・就職希望地域を飛騨地域以外と回答した理由としては、「都会的な場所に住みたい」が31.8%で最も高くなっている。「働きたい場所がない」は前回調査と比較して、23.3ポイントと大幅に減少しており、職場がない懸念は削減されつつあることが分かる。

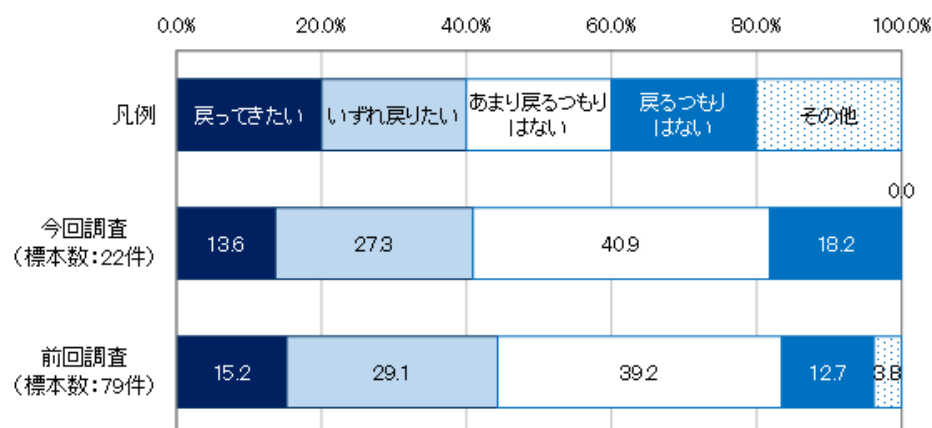
問2-3 (2) 飛騨地域に戻ってきたいという想いはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

・飛騨地域以外で就職を希望する者の飛騨地域に戻る意向は、「あまり戻りつもりがない」が40.9%で最も高くなっている。戻る意向がある割合（「戻ってきたい」、「いずれ戻りたい」の合計）は40.9%となっているが、前回調査では44.3%であり、3.4ポイント減少している。

【飛騨地域以外での就職希望者】飛騨地域以外に就職したい理由



【飛騨地域以外での就職希望者】飛騨地域に戻る意向



03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

④ 飛騨地域以外での就職を希望する理由（進学先卒業後）

問2-7 問2-5で「飛騨地域以外」を選択した方にお聞きます

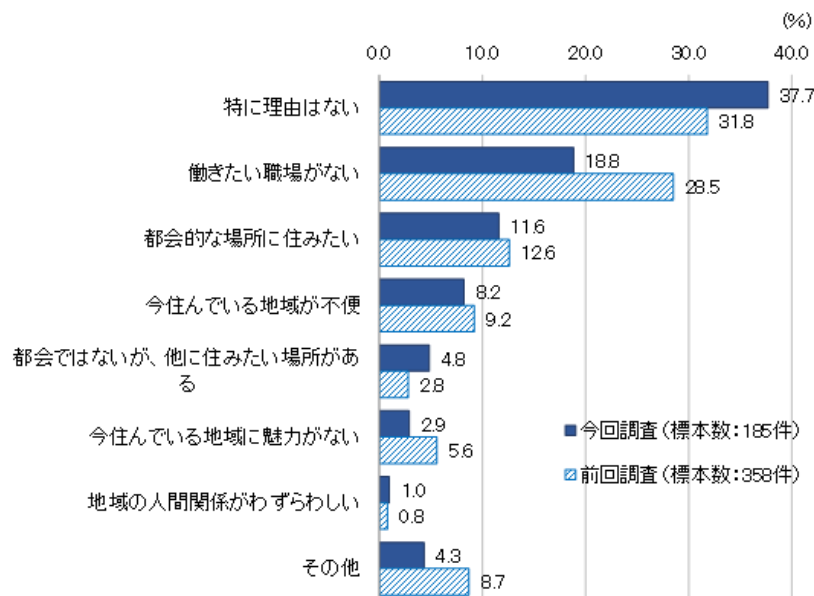
(1) 飛騨地域以外の場所で就職したい理由として、あてはまるもの1つ選んでください。

- ・飛騨地域以外を選択した理由としては、「特に理由はない」が37.7%で最も高く、次いで「働きたい場所がない」が18.8%、「都会的な場所に住みたい」が11.6%の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「特に理由はない」が、前回から5.9ポイント増加し、それ以外の項目で2項目を除き、ポイントが減少している。

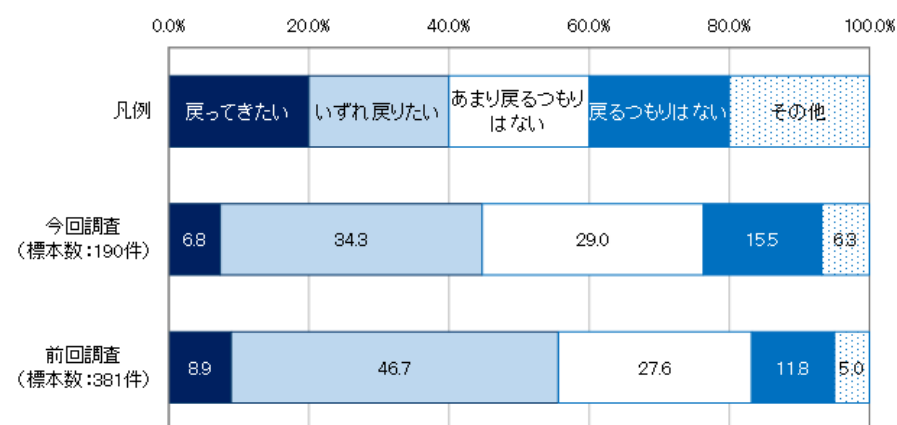
問2-7 (2) 飛騨地域に戻ってきたいという想いがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- ・飛騨地域以外で就職を希望する者のうち、飛騨地域へ戻る意向は、「いずれ戻りたい」が34.3%で、「戻ってきたい」と合わせると41.1%となっている。前回調査では55.6%であり、14.5ポイント減少している。
- ・「戻るつもりはない」、「あまり戻るつもりはない」を合わせると44.5%となっており、前回調査から5.1%増加している。

【進学先を卒業後、飛騨地域以外での就職を希望する人】
飛騨地域以外で就職したい理由



【進学後、飛騨地域以外での就職を希望する人】
飛騨地域に戻る意向



03 | 将来の進路や仕事に関する意識・希望アンケート調査

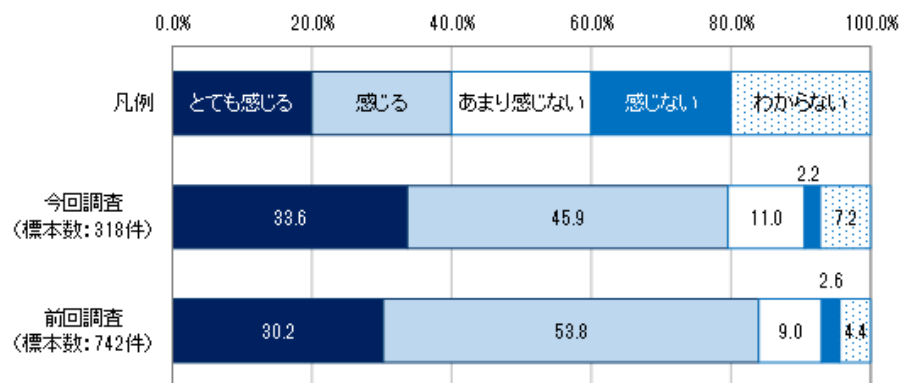
⑤住んでいる地域への愛着度

問3-1 お住まいの地域に愛着を感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

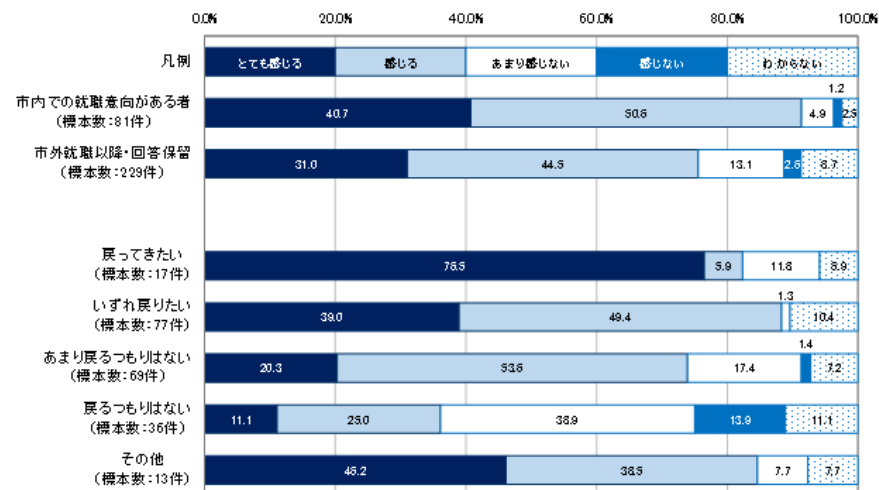
- ・住んでいる地域への愛着は、「とても感じる」が33.6%、「感じる」が45.9%で合わせて79.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「とても感じる」の割合が3.4ポイント増加している。

・市内就職意向と住んでいる地域への愛着の関係をみると、市内就職意向がある者の方が愛着を感じている。また、飛騨地域以外での就職希望者は、「戻ってきたい」、「いずれ戻りたい」というUターン意向がある者ほど地域への愛着を強く持っている。

住んでいる地域への愛着



市内就職・Uターン意向別・住んでいる地域への愛着



04 | 高校生まちづくりアンケート調査

04 | 高校生まちづくりアンケート調査

① 調査の概要

● 調査の目的

第九次総合計画の策定に向けた現状分析など、高山市が今後目指すべき方向性やまちの将来を展望するため

● 調査の期間

令和5年9月8日～10月6日

● 調査の方法

調査対象 飛騨地域の高校及び特別支援学校高等部に通う本市在住の生徒（2年生・699人）
実施方法 各学校を通じて配布、インターネットによる回答（一部学校にて回収）

● 回収結果

回収数 311件
回収率 44.5%

● 調査の項目

※太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

○ 暮らしや地域への考え方

- ・ **高山市や居住地域の愛着度**
- ・ 高山市や居住地域での活動
- ・ 定住を進められているかどうか

○ 将来の仕事

- ・ 高山市や住んでいる地域の仕事の印象

○ 将来の高山市

- ・ **継続移住・Uターンの意思、将来高山市に住みたいとなる条件**
- ・ “戻ってきたいまち”とするための取組
- ・ 将来高山市に関わりたいか

○ 高山市のまちづくり

- ・ 高山市のイメージやまちづくりテーマ
- ・ 高山市で取り組みたいこと

04 | 高校生まちづくりアンケート調査

② 高山市や居住地の愛着度

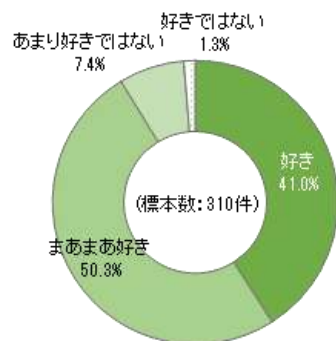
問2-1 あなたは、このまち（高山市や住んでいる地域）が好きですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

・高山市や居住地を好きな回答者は、「好き」が41.0%、「まあまあ好き」が50.3%で合わせて91.3%となっている。

高山市や居住地が好きかどうか

	回答数(件)	回答率(%)
好き	127	41.0
まあまあ好き	156	50.3
あまり好きではない	23	7.4
好きではない	4	1.3
合計	310	100.0

(標本数: 310件)



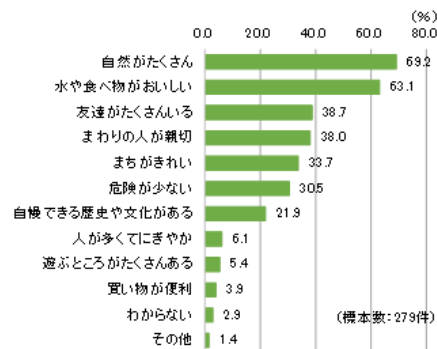
問2-2 問2-1で「1. 好き」「2. まあまあ好き」と答え方にお聞きます。どんなところが好きですか。あてはまるものを全て選んでください（複数回答可）。

・高山市や居住地を「好き」「まあまあ好き」と回答した者の、高山市や居住地の好きなところは、「自然がたくさん」が69.2%で最も高く、次いで「水や食べ物がおいしい」が63.1%となっている。

高山市や居住地の好きなところ

	回答数(件)	回答率(%)
自然がたくさん	193	69.2
水や食べ物がおいしい	176	63.1
友達がたくさんいる	108	38.7
まわりの人が親切	106	38.0
まちがきれい	94	33.7
危険が少ない	85	30.5
自慢できる歴史や文化がある	61	21.9
人が多くてにぎやか	17	6.1
遊ぶところがたくさんある	15	5.4
買い物が便利	11	3.9
わからない	8	2.9
その他	4	1.4

(標本数: 279件)



(標本数: 279件)

04 | 高校生まちづくりアンケート調査

③継続移住・Uターンの意思、将来高山市に住みたいとなる条件

問4-1 あなたは、将来もこのまち（高山市や住んでいる地域）に住み続けたいと思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

・居住地域への継続居住、Uターン意向は、「一度まちを出て、また帰ってきたい」が55.3%と最も高く、次いで「住み続けたい」が24.8%となっている。

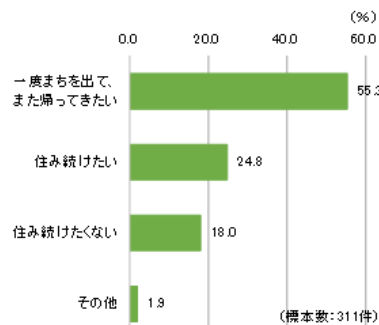
問4-2 将来高山市がどのようなまちであれば住んでみたいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

・どのようなまちであれば住んでみたいと思うかについてみると、「買い物が便利なまち」が49.5%と最も高く、次いで「娯楽施設が充実したまち」が40.2%、「働く場所が多いまち」が36.0%という順になっている。

居住地域への継続居住、Uターン意向

	回答数(件)	回答率(%)
一度まちを出て、また帰ってきたい	172	55.3
住み続けたい	77	24.8
住み続けたくない	56	18.0
その他	6	1.9
合計	311	100.0

(標本数:311件)



(標本数:311件)

どのようなまちであれば住んでみたいと思うか

	回答数(件)	回答率(%)
買い物が便利なまち	154	49.5
娯楽施設が充実したまち	125	40.2
働く場所が多いまち	112	36.0
観光客など多くの人でにぎわうまち	47	15.1
安心して子育てができるまち	47	15.1
医療体制が充実しているまち	42	13.5
自然豊かなまち	34	10.9
文化・芸術・スポーツが充実しているまち	30	9.6
福祉が充実しているまち	28	9.0
交通網や住環境など、都市機能が充実しているまち	28	9.0
災害に強いまち	19	6.1
農業林業が盛んで地域資源が活かされているまち	18	5.8
ものづくりなど企業活動が盛んなまち	17	5.5
生きがいを持って暮らすことができるまち	17	5.5
教育が充実しているまち	13	4.2
歴史や伝統を大切にするまち	12	3.9
地域のコミュニケーションが活発なまち	12	3.9
ITを活用した情報交流が盛んなまち	12	3.9
交通安全や防犯など、生活安全が充実しているまち	12	3.9
健康づくりの取組みが充実しているまち	4	1.3
その他	3	1.0

(標本数:311件)



(標本数:311件)